

事業所名 合志市社協「スペースアレンガ」

公表日：令和8年3月27日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	8	4		・限られたスペースの中で、子どもたちの様子や特性に合わせて部屋の使い方を工夫し、活動内容に応じた環境づくりを行っています。 また、職員の目が行き届く配置や、車椅子利用児への配慮、静かな空間の確保など、安全で過ごしやすい環境となるよう努めています。	現在の設備は基準を満たしていますが、より安心して過ごせる環境とするためには、スペースの使い方や設備面で工夫できる点があります。 今後も、子どもたちの様子に合わせながら、安全で過ごしやすい環境づくりに取り組んでいきます。
	2 利用定員やこどもの状態などに対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3		・指定基準に加えて、手厚い支援がでるよう加配を含めた職員配置としています。臨時職員の配置や長期休暇時にはさらに職員を増員するなど、柔軟な対応を行っています。	・これらの体制については、現場職員の理解や合意形成が不可欠であり、現状の課題や必要性について丁寧に共有しながら進めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1		・こども一人ひとりにわかりやすい環境となるよう、療育環境チームが中心となり、視覚な支援や構造化を取り入れています。 ・こどもや職員の数を考慮すると広さや収納スペース、多目的トイレの数等のハード面の課題はあるものの、建物そのものはバリアフリー対応となっており、スケジュールの提示や物品の整理整頓を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めています。	・こどもの（障がい）特性に関する理解をさらに深め、より分かりやすい環境づくり（□支援や構造化）について、さらなる充実が必要です。 また、今後も継続して取り組んでいきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1		・毎朝、職員総出で掃除をし清潔な環境づくりに取り組んでいます。また安全に配慮し、週1回以上のチェック体制を構築。他にも畳のスペースやマットなどで快適に過ごせる環境づくりを行い、利用児童の生活環境に配慮しています。	・美化感染に関する年間計画を立案し、左記の取り組みを継続します。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2		・パーソナルスペースを確保する目的で別室を準備したり、エリアごとに仕切るなどし、環境を整えています。 ・利用者の関係性を考えた部屋の配置や、気持ちを落ち着かせるための別室利用も可能としています。 ・医療的ケア児や強度行動障害児、感覚過敏のなど配慮が必要なこどもに対して静養室やじの部屋の活用など工夫しています。	・左記の取り組みを継続します。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	11	1		・日々の事前/事後ミーティング、定例職員ミーティングにて、業務内容やその改善に関する話し合いを行っています。全員で取り組む体制づくりを進めており、定着に時間を要しますが帰属して取り組んでいます。 ・①療育環境、②安全管理、③美化感染、④給食の4つのチームに分かれて業務改善に取り組んでいます。その内容の実現に向けて、進捗状況を可視化等のタスク管理に努めている。	・今年度は①構造化（視覚支援）、②物品管理、③安全管理、④美化感染、⑤給食、⑥写真管理の6つにチームを改編し取り組みました。 ・全職員が共通認識をもってPDCAサイクルに参画できるよう、今後も取り組みを継続します。
	7 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか。	12	0		・年1回保護者アンケートを実施し、保護者の要望把握に努めています。いただいたご意見は職員ミーティングや回覧等で情報共有し、要望の具現化や業務改善に取り組んでいます。 ・合志市社会福祉協議会ホームページ内に公表している。また、その旨を保護者にも周知しています。	・今後もアンケートを継続し、保護者の皆さまからの声を大切にしながら、より良き支援につなげていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		・職員の意見を把握するため、管理者による定期的な面談や日々のミーティングを行っています。月1回の全体ミーティングでは、事前に意見や課題を共有し、安心して発言できる環境づくり努めています。 また、日常的な声かけや関係づくりを大切に、出された意見を業務改善につなげていきます。	ミーティングについては、内容を大切にしながら、時間の使い方工夫していく必要があります。また、話し合いをより良くするために、職員の進捗力や伝える力を高めていくことも大切です。あわせて、職員が安心して意見を出せる雰囲気をつくり、その意見を日々の改善につなげていくことに取り組んでいきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	0		・令和4年度に第三者評価を受審し、評価結果は熊本県社会福祉課ホームページに公表済み。	・評価結果を踏まえ、今後も課題検討と目標設定、サービスの質の向上や改善に向けた取り組みを継続してまいります。

	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間研修計画を策定し、月次職員研修のほか、各職員が均等に外部研修にも参加できるよう、管理者にて業務調整を図っている。</li> <li>・今年度は主に発達障害者支援センター、児童発達支援センター主催の研修、強度行動障害支援者養成研修、医療的ケア児等支援者養成研修、児童発達支援管理責任者等輝度研修・更新研修専門コース別研修（障害児支援）他を受講した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度は、児童発達支援管理責任者（OJT）にも計画的に取り組んでいきます。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人、事業所理念や支援方針、提供する支援内容等についてまとめ、ホームページ上に公表した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修等を通じて、適宜支援プログラムについて理解を深めながら、事業所の理念実現に向けた取り組みの基盤を築いていきたいと取り組んでいます。</li> </ul>
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、保護者面談のほか、関係機関からの情報収集等を含めたニーズや課題の把握に努めたうえで、わくわくシート（個別支援計画）を作成しています。</li> <li>・今年度はアセスメントシート、れんがサポートシート（保護者からの情報提供シート）を刷新し、5領域の観点から情報収集を行いました。</li> <li>・わくわくシートは子ども版、保護者版とに分かれており、子どものストレングスに注目した内容、表記に努めています。</li> <li>・専門的支援実施（わくわくトレーニング）にとりくみ、アセスメントシート（評価シート）を作成しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続する。</li> </ul>
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員（個別支援担当者、機能訓練担当者、児童発達支援管理責任者）による協議の上でわくわくシートを作成しています。</li> <li>・計画立案の前後に個別支援会議を開催し、支援方針を共通理解したうえで支援できるよう周知に努めています。</li> <li>・何より意思決定を基本とした子どもの最善の利益に向けて職員間で取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も情報共有と連携を大切にしながら、より適切な計画作成に努めていきます。</li> </ul>
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議やミーティングを通して計画内容の共有を行い、職員全体で理解を深めています。</li> <li>・個別支援計画に基づき、日々の支援に取り組みながら目標設定や振り返りを行っています。また、記録や回覧を活用し継続的な支援の見直しにつなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きこの取り組みを継続するとともに、非常勤職員を含めた全職員への周知を徹底していくことが課題です。</li> </ul>
	15	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域の観点から情報収集できるよう、アセスメントシート、れんがサポートシート（保護者からの情報提供シート）を使用しています。</li> <li>・専門的支援実施（わくわくトレーニング）に伴い、アセスメントシート（O Tの評価シート）を使用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に情報収集や観察法に基づくアセスメントを行っており、各職員の主観が入りやすい。観察する行動や場面をあらかじめ決めたり、また複数の職員で観察することで、より客観的なアセスメントができるよう努めています。</li> </ul>
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移動支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度報酬改定を踏まえ、保護者版わくわくシート様式を左記の内容が網羅された様式に刷新した。分かりやすく伝達できるよう、平易な表現に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域とのつながりを考慮したうえで、同じ活動内容にならないように前年やその前の月なども把握し、子どもたちが楽しめる内容を計画しています。</li> <li>・季節行事や地域行事への参加、ボランティアとの交流などの地域交流、歯科衛生士による歯科教室（歯みがき指導）、ストリートダンス教室などの外部講師による活動も継続しています。</li> <li>・子どもたちの成長や変化を踏まえ、新しい要素を取り入れた活動、発達段階に応じた活動を模索しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に配慮したプログラム・プログラムの新しい支援内容を職員間で出し合い、再構築しています。</li> <li>・新しいゲームや制作などを考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動と小集団活動、個別活動を計画的に実施しています。</li> <li>・小集団活動、個別活動は専門的支援（わくわくトレーニング）の実践を行い集中的に支援の視点（ねらいや配慮点）を明確化し、焦点をあて取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は専門的支援（主に機能訓練）の実施に向け取り組みました。課題もや改善点も話し合いながら取り組んでいきます。</li> </ul>

20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの来所前に支援前ミーティングを行い、活動内容や職員配置、送迎、こどもの前回利用時の様子等の確認を行っています。</li> <li>・一人ひとりの障害特性や個別支援課題について職員間で共有し、支援の視点（ねらいや目標、配慮点）を明確化しながら活動プログラムを有効活用に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続する。ミーティングの効率化に関しては前述の通り。</li> </ul>
21	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後ミーティングを実施し、ケース記録参照のもと支援内容やこどもの様子について振り返りを行っています。</li> <li>・これらの項目のほか、家庭からの連絡事項等をケース記録や申し送りノートに記入し、当日不在の職員にも伝達・共有できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続する。ミーティングの効率化に関しては前述の通り。</li> </ul>
22	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルを意識できる記録様式となっており、わくわくシートの内容を反映した記録となるよう心がけている。日々のミーティングではその記録を参照し、活動プログラムや個別支援の検討を行っています。</li> <li>・支援終了後ミーティングでは、提供時間の確認、権利擁護（困難事例や身体拘束）、安全管理（ヒヤリハット、危険箇所）、食事に関することも振り返り、記録による全体共有に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一度個別支援会議を開催し、多職種連携のもとわくわくシートの支援内容や達成度、今後の課題について多角的に振り返りを行い、再計画の必要性について検討しています。</li> <li>・PDCAサイクルを可視化したモニタリング・評価表を運用し、個別支援の質の向上に努めています。</li> <li>・わくわくトレーニング実施児童も合わせて見直しを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「子どもが主体的に参画できる活動」の4つの基本活動を日々の活動やイベント参加など年間計画の中に織り交ぜ、こどもの主体性を育むことを目的に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインが改訂され、5領域の支援など新たな視点にも触れられています。職員全体でガイドラインに関する学習の機会を確保し、その内容に則った支援や事業運営を展開して行きます。これまでのスペースアレンガの取り組みをこれからも継続し、まさに「地域の中で育む療育」目指します。</li> </ul>
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの意思表示のために、視覚的支援（イラストや写真など）を含めた情報提供、選択肢の明示に取り組んでいます。様々な場面で、代弁や意思確認を行いながら、自己決定を促しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己決定や意思決定は、障害者権利条約や障害者基本法等に保障されている障害のある人の権利である。障害児・者福祉に関する理念や思想、意思決定支援やその前提となる意思形成支援に関する学びをさらに深め、権利擁護の取り組みを継続していく。</li> </ul>
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した物が参画しているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者の出席を原則としているが、会議内容に合わせ個別支援担当者、機能訓練担当者も出席できるよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議やケース会議には積極的に出席し、関係機関との情報共有や支援方針の検討に努めています。</li> <li>・今年度は医療的ケア児のアクシデント（自抜）時の対応について利用児童の主治医に指示を仰ぎ医療職間で共有しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡等）を適切に行っているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援学校主催の事業所連絡会などを通して、学校との連携体制構築に取り組んでいます。</li> <li>・学校への送迎時、こどもの様子や支援経過等について情報共有を行っており、今後も継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小・中学校は各校で対応も異なるため、それぞれの学校と連携のあり方を協議しながら適宜対応している。</li> </ul>
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用に伴い、相談支援事業所主催のサービス担当者会議へ出席し、これまでかかわりのあった関係機関への情報収集を行っています。</li> <li>・サービス担当者会議に出席されない関係機関にも電話連絡にて情報収集するなど、新規受け入れに当たってこどもの理解を深めるよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所主催のサービス担当者会議へ出席し、これまでの個別支援の経過や当事業所での本人の姿などについて情報提供を行い、移行支援に取り組んでいます。</li> <li>・利用終了後も必要に応じて関係機関へ情報提供を行うなど、切れ目のない支援が提供できるよう各障害福祉サービス事業所等との連携を図っています。</li> <li>・卒業後も気軽に立ち寄れる場所であるよう「ようこそ先輩」などのイベントを通してつながりを継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	31	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センター、発達障害者支援センター等主催の研修に積極的に参加しています。</li> <li>・今年度は児童発達支援センターへ「ペアレント・プログラム」の研修に参加し、保護者支援の取り組みについて学ぶ機会がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> <li>・熊本県の地域療育体制について全職員が理解し、困難事例等の個別ケースについても相談・助言が受けられるよう、二次・三次圏域の機関との連携に努めていく必要があります。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人内に放課後児童クラブや児童館があり、「同じ地域で暮らす同世代のこどもたち同士の育ちあい」を目的に、地域のこどもたちと交流する機会づくりを行っています。</li> <li>・今年度は主に長期休暇中に連続した交流プログラムを立案し、クリスマス音楽祭に向け、共同制作に取り組みました。交流を重ねることで友だち意識が芽生え、それぞれに楽しくかわりあう姿が見られています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も左記の取り組みをさらに充実させ、地域福祉やソーシャルインクルージョンの推進に努めていきます。</li> </ul>
	33	(地域自立支援)協議会へ積極的に参加しているか。	9	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池圏域の協議会(こども部会)の活動に管理者を中心に参加している。協議会で検討されている地域課題やそれに対する取り組みについて、会議資料を回覧して職員間の周知を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池圏域の各市町の障害児通所支援事業所数に偏りがあり、地域性も多様。合志支部に関しては障害児通所支援事業所数の増加といった特性上、代表事業所のみ会議出席しているため、実質的な参加にはほど遠い現状があります。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、電話やLINE等のツール、送迎時の面会など、日常的な家庭とのコミュニケーションを大切に、こどもの状況や発達課題に関する共通理解ができるよう努めています。</li> <li>・家族面談や家庭訪問も定期的を実施し、子育てや家族の育ちに関する支援体制を整備しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からの伝達事項については適宜対応できるよう、今後も職員全員が共通の意識を持ち、留意していく必要があると考えます。</li> </ul>
	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。(ペアレントトレーニングを意図した相談支援を含む)	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、ペアレント・トレーニングと銘打った取り組みは実施できていないが、適宜保護者に対してこどものかかわりや子育てに関する相談支援を定期的な面談を通して行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングや家族対象の研修会等の実施を今後の課題とし、家族応援プロジェクト(仮)の体系化に取り組む必要があると考えます。</li> </ul>
保護者への説明	36	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規契約契約や障害福祉サービス報酬改定があった際には、各種書類に基づいて文章配布と説明(個別・グループ面談)を行っています。今年度も実施済みです。</li> <li>・新規利用の際にはれんがの概要や留意事項を記載した「ご利用のしおり」を配布しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> <li>・令和8年度版「ご利用のしおり」は配布いたします。</li> </ul>
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもや保護者との面談を行い、ニーズや課題の把握とともに支援方針や支援方法に関する意向の確認も同時に行っています。この取り組みにおいてもこどもの権利擁護の観点を大切にしており、視覚的支援(イラストや写真など)を含めた情報提供、選択肢の明示、代弁等により、意向を確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくシートを提示しながら支援内容については、利用児童・その後保護者に説明し、不明な点等を確認しながら同意を得ています。可能な限りこどもにも同席してもらい、分かりやすい言葉や視覚的情報を用いて内容を伝えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して、適宜こどもの様子や発達課題等について共通認識を図るとともに、こどものかかわり方や子育てに関する相談支援を行っています。</li> <li>・家族からの相談には迅速かつ丁寧に対応し、信頼関係の構築につなげることを重視して支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は「ようこそ先輩」「親Café」「みんなでポッチャ」など先輩保護者との交流、きょうだい児を含めた家族交流会を開催しました。家族で参加や、普段来所されない父親との参加やパラスポーツ体験もでき好評でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親Café」「ようこそ先輩」「みんなでポッチャ」は定期開催とし、内容を深めながら保護者の気持ちの共有やつながりづくりを継続していきます。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情、要望について、苦情受付担当者(管理者)や児童発達支援管理責任者を中心に迅速かつ丁寧な対応を心がけています。</li> <li>・職員ミーティングにて改善策を検討し、全職員が共通認識をもってその後の対応ができるよう、ヒヤリハットレポート等を活用した情報共有に努めています。苦情要望は貴重な意見と捉え、支援内容を振り返る機会としています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>

	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「スペースれんがだより」を発行し、写真を多く掲載し、子どもたちの様子や活動内容に関する情報発信を進めています。</li> <li>・また合志市社協の広報誌として、毎月「ほっとライン」を発行し、合志市社協や地域福祉に関する情報を発信しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> <li>・その他、公式LINEアカウントを活用した個別の写真提供やれんがの取り組みに関する内容を「スペースれんがだより」に掲載し、保護者に伝えていきます。</li> </ul>
	43	個人情報に十分注意しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報取扱い業務概要説明書」に基づいて保護者へ説明し、書面にて同意を得たうえで個人情報を管理しています。また、肖像権の取り扱いについては、保護者に毎年確認いたします。</li> <li>・適切な個人情報の取り扱いに留意した日常業務の遂行を目的に、必要に応じてれんが安全管理委員会にて個人情報保護に関する研修を適宜実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくシートについて、子ども用と保護者用との2種類を準備して、子ども用には理解度に応じてルビを振ったり、使用する文言等を変更するなどして、合理的配慮に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続し、理解しやすい書類、伝達しやすいツール、相談支援体制の整備など、今後も事業所として説明責任を果たせるよう取り組みを進めていきます。</li> </ul>
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みやクリスマスの時期と一緒に活動を行ったり、プレゼント交換を行うなど地域交流のを行いました。また日常的に音楽活動、お話し会、木工教室など、多彩な活動にボランティアの方にご協力いただいています。</li> <li>・2026年2月・3月に『第7回れんがのなかまたち展』を開催し、多くの地域住民にご参観いただきました。年中行事となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営主体が社会福祉協議会であり、社協内の他課とも連携した地域福祉推進の取り組みを継続します。</li> </ul>
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを策定し、安心・安全に利用できるよう適宜対応している。職員研修等にて事業所内周知を図るほか、各委員会活動において内容の見直しや改訂を行っています。</li> <li>・感染管理に関する取り組みや緊急事態発生時など、公式LINEアカウントを活用してタイムリーに情報発信し、家庭との連携を図っています。</li> <li>・情報開示に関して、保護者等が自由に閲覧できるように各種マニュアルを含んだファイルを整備しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを行っているが、保護者の周知には課題もあると考えます。公式LINEでの訓練の周知や「だより」等で発信していきます。</li> </ul>
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・れんが防災委員会が中心となり、年2回の避難・防災訓練、年1回の不審者対応訓練を実施した。また、合志市社協消防計画、合志市社協事業継続計画（BCP）についても整備と実践・見直しを継続していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続しつつ、訓練を形骸化させないために、適宜内容や方法を検討する必要があると考えます。法人管理者会等でも確認し、法人全体で取り組みます。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理については、看護師を中心に服薬状況（お薬手帳）・医療的ケア（指示書）・基礎疾病の確認を行い、個別支援会議の際に毎回確認を行うことで全職員が情報共有しています。</li> <li>・担当看護師制を行うことで、保護者も相談しやすい体制づくりに努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与薬依頼書や薬剤情報提供書、医療的ケアの実施等に関する書類管理を行い、個別支援の一環として全職員が情報共有できる体系の構築に取り組みます。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師を中心に保護者よりアレルギーに関する情報を収集し他職種も共有しながら、おやつを提供しています。</li> <li>・現在、家庭へ病院等での検査結果、医師の指示書（学校用）の提出を依頼し、それに基づいた危機管理対応を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> <li>・食物アレルギー対応に関しても個別の担当看護師が中心となり、毎回確認し、除去するなどの取り組みを進めていきます。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し安全管理に必要な研修や、訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・れんが安全管理委員会、れんが防災委員会との共同のもと安全計画を作成しています。日々の安全確認業務を反映した計画となるよう、年度ごとに加筆修正を行っています。</li> <li>・不審者訓練に関しては、合志市（危機管理調整官）の協力も得ながら実施しています。</li> <li>・防犯対策の一環である防犯カメラや防犯チャイムについて、定期的に使用方法の確認や安全点検を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続する。</li> <li>・月次職員ミーティングにて安全計画を確認したうえで安全管理業務を執行します。</li> </ul>
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースれんがだよりや公式LINEアカウントを活用し、家族等へ安全管理や防災に関する情報発信を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の方法以外にも保護者への周知のあり方を再考し、安全確保に関する保護者との連携体制の構築に取り組む必要があと考えます。</li> <li>・防災訓練に関して、近隣の住民や関係機関の協力促進が今後の課題です。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事務所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のミーティングにおいて、小さな事例でも意見にしたり、記録に落とすことの徹底を通して、職員の意識向上を図っています。</li> <li>・れんが安全管理委員会や事業内安全管理チームがイニシアチブを取り、レポートや報告書を踏まえてヒヤリハットや事故の再発防止に向けた取り組みを検討しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続する。</li> </ul>
	52					

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・れんが権利擁護委員会が中心となり、職員の入職時に虐待防止、身体拘束に関する研修を行うほか、年1回全職員対象に同様の研修を開催し、権利擁護に関する意識向上に取り組んでいます。</li> <li>・研修の形骸化に取り組み、今年度は各事業ごとの身体拘束等の状況確認、チェックリスト確認、指針の確認等行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続します。</li> </ul>
54	どのような場合に止むを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了承を得たうえで、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に記載しているか。	12	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多動・衝動性の強い子ども、パニック等による自傷他傷の可能性のある子どもに対して、わくわくシートにおいて身体拘束等の適正化に関する内容を記載し、保護者の同意を得たうえで個別対応を行っています。</li> <li>・れんが権利擁護委員会にて定期的に身体拘束の実際（身体拘束の有無、記録に基づく支援の検証など）について考察しています。</li> <li>・強度行動障害支援者養成研修受講者3名を配置し、れんがサポートプロミス（強度行動障害に関する支援計画シート）を作成したうえで支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを継続し、強度行動障害のある子どもの支援や意思決定支援の強化に取り組んでいきます。</li> </ul>